

よなごびと

第18回

全国なわとびスピードコンテスト
中国エリア代表

中原 翔 さん・ 駿 さん

将来の夢は
縄跳びのプロになること！

小学生を対象にした縄跳びのスピードを競う「全国なわとびスピードコンテスト」の中国エリア予選が、1月に米子市内で開催されました。そのシングル種目でワンツーフィニッシュを果たしたのが、中原翔さん(10歳)と駿さん(7歳)兄弟です。翔さんは1分間に380回、駿さんは245回という記録で中国エリア代表に選ばれました。

「縄跳びを始めたのは、縄跳び検定をやってみたかったから」という翔さん。そこから縄跳びにハマったお兄さんを見て、弟の駿さんも興味を持ち始めたそう。それ以降は、兄弟仲良く縄跳びに夢中。「食べるか寝る時間以外はほぼ跳んでいます」というお母さんの言葉どおり、週2回の体育館での練習だけでは飽き足らず、家の中にシートを敷いた特別スペースで、毎日練習を重ねています。

「縄跳びが大好きだから、世界一になりたい」という翔さん。「最初はあんまり好きじゃなかったけど、やってみると体力がついて、それが好き」という駿さん。当然スタイルや性格に個性はありますが、将来の夢を尋ねると、二人そろって「縄跳びのプロになる！」と答えました。

3月には名古屋で開催される全国大会に出場。ひとつひとつ、新たなステージでチャレンジを重ねます。二人なら、今後どんな壁も「跳び」越えていくことでしょう。



二人で中国エリアの代表に



得意技は「SSTスラップ」(背面交差跳び、ラップ(縄を脚に巻き付ける)など複数の技をしながら3重跳びを連続する技)